

2011年度

科目名	ゼミナールⅡ				
担当教員	田中 伸				
配当	教福4		コード	80179	
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	4
授業テーマ	研究方法の獲得と応用				
目的と概要	本ゼミナールは、社会科教育の課題検討を通して、研究方法の獲得を目指します。身近な現代社会現象の中から卒業研究の課題を見付けるよう視野を広げてください。				
成績評価法	平常点100%				
テキスト	学生の関心に応じて、適宜紹介いたします。				
参考書	学生の関心に応じて、適宜紹介いたします。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	既習項目を完全に理解したうえで、各回の授業に臨んでください。 演習は、講義ではなく学生の発表や議論に基づいて行います。積極的に議論へ参加する意欲のある学生が望まれます。なお、演習の性格上、原則として欠席は認めません。				
講義計画					
卒業論文作成へ向け、個々人のテーマを追究します。 (第1回～15回) 各自調査研究を行い、その結果をゼミで報告してもらいます。 その際、以下の観点へ着目し、各自レジュメ並びに資料作成が必須となります。 1、問題の所在 その課題に着目した理由 2、先行研究の分析 課題に関するこれまでの研究の分析・検討の結果、現時点における先行研究の到達点 3、卒業論文の目次構成 上記2点を整理し、卒業論文の目次構成を作成する (第16回～30回) 卒業論文作成へ向け、以下3点を整理し、研究をまとめてもらいます。 1、先行研究の整理／解釈 前期で調査した先行研究を、自分なりの枠組みで整理し、解釈する 2、研究成果の発表（適宜） 2週間に一度を目処に、各自研究成果をゼミで報告し、皆で批判検討する 3、卒業論文の執筆 上記をまとめ、最終的に論文として仕上げる 4、研究成果の報告と批判 卒業論文の発表会を行う。皆で研究成果の共有をはかり、更なる発展を目指して批判検討を行う。					